第９回ＩＤＦ講習会
通常コース内容（１／3）

Aコース	コース名	メディア・フォレンジックの必要性
	ＩＤＦ主催	IDF　上原 哲太郎 氏（立命館大学）
	概要	デジタル・フォレンジックの分野が広がるにつれてフォレンジックが必要とする分野が広がってきています。特に画像のフォレンジックに関して必要な知識は増加してきていると言えます。本講座では画像における改ざん技術の現状をお伝えするとともに、オープンソースを用いた古典的なフォレンジックを起点に、画像の分析を行う手法について概要を解説します。
	前提知識等	フォレンジックの基礎的知識を有している方向けですが、どなたでも受講できます。
Bコース	コース名	モバイルフォレンジックの基礎習得
	実施社	リーガルテック株式会社
	概要	Androidスマートフォンからのデータ抽出およびデータ解析手法について解説・実演します。モバイルフォレンジックツールのUFED、AndrExを活用した解析事例も紹介します。
	前提知識等	フォレンジックの基礎知識を有している方向けですが、どなたでも受講できます。尚、デジタル・フォレンジックの実務に携わる方を歓迎致します。
Cコース	コース名	NUIXとモバイルフォレンジックのMSABによる大規模データの調査・解析ラボの紹介
	実施社	Nuix Japan
	概要	急増するデータ、デバイスやデータタイプの多様化により、デジタル調査は日増しに困難となっています。MSABとNUIXとの連携により、効率的なワークフローとチームでの協業を実現し、事案を素早く解明する方法を解説します。
	前提知識等	デジタル・フォレンジックの実務に携わる方向けですが、どなたでも受講できます。
Dコース	コース名	CyCraft社 CyCraft AIRを用いたファストフォレンジック調査の実演
	実施社	株式会社スプラウト
	概要	模擬的な攻撃を行った複数の端末に対し、CyCraft AIRを用いたファストフォレンジック調査を実演します。その結果から、インシデント対応や将来的な予防の知見をどのように得るかをディスカッションします。
	前提知識等	フォレンジックの基礎知識を有している方向けですが、どなたでも受講できます。尚、デジタル・フォレンジックの実務に携わる方を歓迎致します。
Eコース	コース名	Autopsy を用いたデジタル・フォレンジックの実務
	実施社	ベイシス・テクノロジー株式会社
	概要	デジタル・フォレンジックの実務の流れを、オープンソースツールAutopsyのDemoを用いて説明します。
	前提知識等	フォレンジックの基礎知識を有している方向けですが、どなたでも受講できます。 ※Autopsy をご自身で体験したい方には、受講後に教材を配布する予定です。 但し、講師の元で実際にAutopsyを追体験をされたい方には、９月６日（午前／午後）に開催の簡易トレーニングコース（ハンズオン）（Ｂ１、Ｂ２コース）の受講をお勧めします。

通常コース内容（２／３）

F コース	コース名	画像解析フォレンジックの動画復元と画像鮮明化の解説
	実施社	リーガルテック株式会社
	概要	画像解析フォレンジックツールを用いて防犯カメラ、ドライブレコーダーで撮られた動画データのフレーム復元技術と画像の鮮明化技術について初心者にも分かりやすく解説・実演します。
	前提知識等	フォレンジックの基礎知識を有している方向けですが、どなたでも受講できます。尚、デジタル・フォレンジックの実務に携わる方を歓迎致します。
G コース	コース名	デジタル・フォレンジックと刑事法
	ＩＤＦ主催	IDF　石井 徹哉 氏（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）
	概要	サイバーセキュリティ対策をおこなう上で問題となる刑法上の犯罪の成立要件について、詳しく解説する。その際、攻撃者に対する積極的な対応策を講じることが犯罪となりうるかどうかについても検討し、現行の法令上の限界と今後の展望について検討します。
	前提知識等	どなたでも受講できます。
H コース	コース名	X-Ways ForensicsによるWindowsフォレンジックの紹介
	実施社	株式会社ディアイティ
	概要	X-Ways Forensicsの紹介と本製品を使用したWindowsマシンのフォレンジック調査要領を説明します。
	前提知識等	フォレンジックの基礎的知識を有している方向けですが、どなたでも受講できます。
I コース	コース名	モバイルフォレンジック入門
	実施社	株式会社フォーカスシステムズ／Cellebrite Japan
	概要	企業・組織において想定される仮想シーンを元にCellebrite UFEDやMagnet AXIOMなどのツールを駆使して、モバイル端末のデータをどのように取り扱っていくかを解説していきます。
	前提知識等	フォレンジックの基礎的知識を有している方で、モバイルフォレンジックをこれから始める方向けですが、どなたでも受講できます。
J コース	コース名	人工知能を活用した大量データレビュー手法
	実施社	株式会社FRONTEO
	概要	メールやドキュメント等の大量データのレビュー作業において、人工知能を搭載したデータ解析ツール「Lit i View XAMINER」を用い、従来のキーワード検索とは異なる観点でのデータレビュー手法を紹介します。
	前提知識等	どなたでも受講できます。
K コース	コース名	EnCaseのリモートフォレンジック技術を活用したファストフォレンジック入門
	実施社	オープンテキスト株式会社
	概要	OpenText EnCaseのソリューション概要とフォレンジックにおける主な機能を紹介します。またEnCaseを活用してネットワーク越しに証拠データを収集・保全・解析する方法について初心者向けに解説します。
	前提知識等	どなたでも受講できます。

通常コース内容（３／３）

Lコース	コース名	次世代の保全方法と証拠ファイルの解析アプローチ（前編） ～コンピュータ、特殊装置編～
	実施社	株式会社くまなんピーシーネット
	概要	HDDを搭載せず、I/F接続概念がないオールフラッシュPCだけの時代となり、これからの証拠保全についての危機感を持ち、従来の方法に囚われない新しい解析手段を提案します。近年のストレージアーキクチャについての座学と注意点、誰でもできる保全方法や仮想環境を使った新たな解析アプローチの実践を予定しています。
	前提知識等	実際の鑑定事例などを交えるため、官公庁の捜査機関以外の方は、お申し込みされてもお断りする場合があります。
Mコース	コース名	デジタル・フォレンジックと情報法
	ＩＤＦ主催	IDF　小向 太郎 氏（日本大学）
	概要	デジタル情報の法的位置づけについては、いまだに論点が多くあります。デジタル・フォレンジックについても、係争等の法的背景、調査分析の法的評価、証拠としての有効性などが問題となり得ます。本講座では、情報に関する法的規律の性格と、デジタル・フォレンジックとの関係を概説します。
	前提知識等	どなたでも受講できます。
Nコース	コース名	RECON Imager/LabによるMacフォレンジックの基礎
	実施社	株式会社FRONTEO
	概要	RECON Imager/Labのご紹介とデモを交え、Macフォレンジックの基礎を解説します。
	前提知識等	どなたでも受講できますが、フォレンジックの基礎知識を有している方、 及びフォレンジック調査経験を有している方を歓迎致します。
Oコース	コース名	７つのサイクルから導きだす「サイバー犯罪」の最終処理
	ＩＤＦ主催	IDF　林 憲明 氏（サイバー犯罪捜査・調査ナレッジフォーラム）
	概要	属人的であることの多いサイバー犯罪に関する捜査・調査を、「犯罪範囲」「犯罪残痕」「犯罪種類」「分析方法」「情報源」「収集方法」「情報共有」のサイクルに分解し体系化を行った『CIBOK: サイバー犯罪捜査・調査知識体系』に基づいて学習を進めます。本コースにより、サイバー犯罪の捜査・調査に関わる各メンバーの役割に対する理解を促し、円滑な情報共有を推進するための共通言語を身に付けることができます。これからこの分野に取り組もうとされている新任者の方や、漠然としていた内容の整理を望んでいる方からの参加をお待ちしています。
	前提知識等	どなたでも受講できますが、Windows及びフォレンジックの基礎知識をお持ちの方で捜査・調査の体系化に興味をお持ちの方を歓迎致します。
Pコース	コース名	次世代の保全方法と証拠ファイルの解析アプローチ（後編） ～モバイル、IoTデバイス編～
	実施社	株式会社くまなんピーシーネット
	概要	5G通信時代を前に端末のグローバル化は加速し身近な機器は何かと繋がる時代になり、多種多様な機器に残された情報から証拠の手がかりを探す方法を提案します。近年のフラッシュメモリについての座学と注意点、今後スマートフォンやIoT機器をどのように解析すべきなのか少し踏み込んだ解析アプローチの実践を予定しています。
	前提知識等	実際の鑑定事例などを交えるため、官公庁の捜査機関以外の方は、お申し込みされてもお断りする場合があります。